## 苦情事例登録用紙

登録 No. N I-18- 010 登録日 2019 年 3 月 5 日

商品名 苦情原因• 分類 I 分類 Ⅱ 分類 Ⅲ 分類 Ⅳ 分類 V パンツ 変退色 紬士 ドライ 染色 現象の分類 外衣 織物 取扱い サイズ 綿 95% ●ネット使用 ポリウレタン 5% ※ ※ ※ ※ ※ ●タンブル乾燥禁止 表 原産国 ●色ものは発汗、摩擦等により多少脱色したり、色 示 うつりすることがあります。 事 項 苦情 (消費者➡クリーニング) 2年ほど前に購入。クリーニング後、太ももや脇ポケット部分が赤くなった 内容 外 太もも部とポケットロなど、汗の付着やすい部分が赤っぽく変色 裏側は変色なし、ところどころでしみ状に変色している 観 聞 ①着用、取扱い状況 手のひらを添える、ポケットに手を入れるといった動作を繰り返すことはなかったか洗濯回数、ドライクリーニングのみか、水洗いはしなかったか 取 調 0 • 購入時期 杳 ②販売前の試験結果 結 ・耐光、洗濯、ドライクリーニング、汗堅ろう度は良好 果 ①表示 ・立毛素材のため水洗いは難しいが、水洗い不可の場合、汗汚れは除去できない 検 ②材料、染色方法 討 ・ 綿95%ポリウレタン5%であり、反応染料染めと推測 ・一般的に反応染料は、様々な汗成分と紫外線等の影響を受け変色することが多い 事 ③試験•分析 項 • 在庫品使用 耐光、汗耐光堅ろう度試験(JIS人工汗液、ATTS人工汗液) ・基本3級照射であるが、4級照射も行い現象の再現に努める < 苦情部分の写真 > ①汗と光による複合的な変色 ・汗をかいて、ウエットクリーニングではなく汗成分が落ちないドライクリーニングを行った。その後、日光にあたった事による変色と思われる 苦 情 ・汗の成分と光(紫外線)の複合作用で染料分子(反応染料)の一部が破壊された 原 特に汗液の乳酸の影響が大きく、光還元反応が進行した 因 • 汗の成分には個人差もあり、発汗量によっても成分がかわる(発汗量が増えると 水分以外の成分が増える)ため、同現象を完全に防ぐのは難しい ①テキスタイル • 汗耐光堅ろう度に優れる染料を選択する ・紫外線吸収剤で処理することにより、紫外線に対する堅ろう度を改良する ②アパレル ・綿パンツのように汗耐光堅ろう度が問題になると想定される場合は、染色工場に 汗耐光堅ろう度を重視することを伝える ・汗は水洗いで容易に除去できるため、水洗い可能な物づくりを目指す・以下のような付記表示を縫い付け、消費者への情報提供を充実させる 後 図1 苦情品の外観 **ഗ** 「汗が付着した場合は、放置せず、すぐに洗濯を行う」 対 ・綿パンツでは、JIS人工汗液とともにATTS人工汗液を使用した汗耐光堅ろう度 試験を行い、生地の性能を把握した上で生産を進める • 受付時に太もも部分やポケットロなど汗が付着しやすい部分に変色が生じて いないかを確認する 水洗いを推奨する トピックス ・2018年3月20日付けで、JIS L 0888「光及び汗に対する染色堅ろう度試験方法」 の規格が改訂された 図2 苦情品の外観(脇PK部分)

の他